

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学各論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木曜日1.2	教室名	2校舎502教室
担 当 教 員	和歌 秀典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①疾患の原因、②病態生理から症状 ③検査 ④治療						
《成績評価の方法と基準》						
1.定期試験(筆記試験) 2.各章毎に行なう試験(筆記試験)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版 プリント:過去27年間のはり師・きゅう師・あま指の過去問						
《授業外における学習方法》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版を中心に板書形式で行い、最後に教科を一読する進行形式です。板書した内容、教科書以外に最新の検査・治療について追記していきます。毎授業後に自分にあったスタイルでまとめ、知識の定着を行なってください。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生で習った解剖学、生理学、2年で学習する病理学概論を応用することが多い教科で基礎医学から応用科目に移行する科目です。 事前に行なう範囲の基礎科目を予習しておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	生理学で学習した内分泌の作用からそれらの増減から考えられる症状を概説できる。		東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:内分泌	
	各コマにおける授業予定	内分泌疾患(下垂体疾患・甲状腺疾患)				
第2回	授業を通じての到達目標	生理学で学習した内分泌の作用からそれらの増減から考えられる症状を概説できる。		東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:内分泌	
	各コマにおける授業予定	内分泌疾患(甲状腺疾患・副腎疾患) 代謝疾患(糖尿病・高尿酸血症)				
第3回	授業を通じての到達目標	ビタミンの作用を理解したうえで、その欠乏症を考える。膠原病とは何かを知る。最も代表的な2疾患を概説できる。		東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:代謝	
	各コマにおける授業予定	代謝疾患(ビタミン欠乏症・くる病) 膠原病(関節リウマチ・全身性エリテマトーデス)				
第4回	授業を通じての到達目標	全身性硬化症、ベーゼットの4大症状を概説できる。		東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	2年次で習う炎症・自己免疫異常を理解する	
	各コマにおける授業予定	膠原病(全身性硬化症・ベーゼット病)				
第5回	授業を通じての到達目標	皮膚筋炎など、典型6膠原病の中でも多彩な症状が出現するためこれらを生理学から導き出し概説できる。		東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	2年次で習う炎症・自己免疫異常を理解する	
	各コマにおける授業予定	膠原病(皮膚筋炎・結節性多発動脈炎)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学循環器の心周期から症状を導き出し概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:循環
		各コマにおける授業予定	循環器疾患(右心不全・左心不全) 心臓弁膜疾患(僧房弁狭窄症)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	各弁膜症の特有な症状を理解し、概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:循環
		各コマにおける授業予定	循環器疾患 心臓弁膜疾患(僧房弁閉鎖不全・僧房弁狭窄症・僧房弁逸脱症)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	各弁膜症の特有な症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:循環
		各コマにおける授業予定	循環器疾患 心臓弁膜疾患(大動脈弁閉鎖不全・大動脈弁狭窄症)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性心疾患の予後と治癒率などを概説できる。 ファローの四徴候はテキスト外のため、発生理論から概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:循環(心臓)
		各コマにおける授業予定	循環器疾患 先天性心疾患(心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・ファローの四徴候)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因と症状(心筋梗塞と狭心症の違い)を明確に概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:循環(心臓)
		各コマにおける授業予定	循環器疾患 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因と症状、予後、危険因子を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:循環(心臓)
		各コマにおける授業予定	循環器疾患 動脈疾患(大動脈瘤・大動脈解離)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	4大貧血に共通した症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:赤血球
		各コマにおける授業予定	血液疾患(貧血総論)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各貧血の特有な原因と症状、検査を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:赤血球
		各コマにおける授業予定	血液疾患(鉄欠乏性貧血・巨赤芽球性貧血)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各貧血の特有な原因と症状、検査を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:赤血球
		各コマにおける授業予定	血液疾患(溶血性貧血・再生不良性貧血)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患・膠原病・代謝疾患・循環器疾患・血液疾患の理解度を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	自分で作成したまとめノート
		各コマにおける授業予定	中間試験		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	臨床医学各論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 木曜日1.2	教室名	2校舎502教室
担当教員	和歌 秀典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①疾患の原因、②病態生理から症状 ③検査 ④治療						
《成績評価の方法と基準》						
1.定期試験(筆記試験) 2.各章毎に行なう試験(筆記試験)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版 プリント:過去27年間のはり師・きゅう師・あま指の過去問						
《授業外における学習方法》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版を中心に板書形式で行い、最後に教科を一読する進行形式です。板書した内容、教科書以外に最新の検査・治療について追記していきます。毎授業後に自分にあったスタイルでまとめ、知識の定着を行なってください。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生で習った解剖学、生理学、2年で学習する病理学概論を応用することが多い教科で基礎医学から応用科目に移行する科目です。 事前に行なう範囲の基礎科目を予習しておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	各細菌感染症の感染経路と症状・合併症を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生:感染症	
		各コマにおける授業予定	細菌感染症(猩紅熱・百日咳・ジフテリア)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	各細菌感染症の感染経路と症状・合併症を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生:感染症	
		各コマにおける授業予定	細菌感染症(破傷風・ブドウ球菌感染症・食中毒)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	各細菌感染症の感染経路と症状・合併症を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生:感染症	
		各コマにおける授業予定	細菌感染症(コレラ・腸チフス)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	各ウイルス感染症の感染経路と症状・合併症を概説できる。 ※インフルエンザについてはAT教本に沿った内容追加する。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生:感染症	
		各コマにおける授業予定	インフルエンザ・麻疹・風疹			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	各ウイルス感染症の感染経路と症状・合併症を概説できる。 ※水痘・带状疱疹について感染力、症状の出現を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生:感染症	
		各コマにおける授業予定	流行性耳下腺炎・単純ヘルペス・水痘・带状疱疹			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	性行為感染症について、特有な語句をしっかり身につける。近年の衛生統計も一緒に理解する。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	公衆衛生：感染症
		各コマにおける授業予定	性行為感染症：梅毒、淋病、性器クラミジア		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学・解剖学・感染症で学習した内容をもとに腎疾患の症状を概説できる。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学・生理：腎臓
		各コマにおける授業予定	腎疾患(急性糸球体腎炎・慢性糸球体腎炎)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学・解剖学で学習した内容をもとに腎疾患の症状を概説できる。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学・生理：腎臓
		各コマにおける授業予定	腎疾患(ネフローゼ・急性腎不全)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	生理学・解剖学で学習した内容をもとに腎疾患の症状。逸脱酵素、血清電解質の異常を概説できる。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学・生理：腎臓
		各コマにおける授業予定	腎疾患(慢性腎不全)		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染から発生する腎疾患の原因、症状、検査など調べ。特有な語句を理解する。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学・生理：腎臓
		各コマにおける授業予定	腎疾患(腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	結石ができるまで、また、尿路結石・腎結石の疝頓が発生しやすい時間、症状を概説できる。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学・生理：腎臓
		各コマにおける授業予定	結石(腎結石・尿路結石)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系に起こる腫瘍の原因、症状、疫学・治療を概説できる。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	解剖学：泌尿器
		各コマにおける授業予定	前立腺肥大・前立腺癌・膀胱癌		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床各論 I で学んだ各章における重要なキーワードを再度確認する。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	まとめノートの作成
		各コマにおける授業予定	内分泌疾患・代謝疾患・膠原病		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床各論 I で学んだ各章における重要なキーワードを再度確認する。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	まとめノートの作成
		各コマにおける授業予定	感染症・循環器疾患		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床各論 I で学んだ各章における重要なキーワードを再度確認する。	東洋療法学校協会編：臨床医学各論 第2版	
		各コマにおける授業予定	血液疾患・腎疾患		